

レ ポッカサッポロ食育出前授業 モンで健康な体づくり

6月7日（金） 神岡小学校

神岡小学校でポッカサッポロ食育出前授業「コツコツ貯金大作戦」が開かれ、同校の6年生42人が参加しました。

授業では、レモンによる食育を注力しているポッカサッポロフード&ビバレッジ（株）のレモンマイスターの森欣也氏、青木川治氏が、カルシウムの大切な役割や骨の仕組みについてクイズを交えた話をしました。

教室に戻るとマイスターからレモンラッシーの作り方を聞きながら、容器にハチミツ、レモン果汁、牛乳を入れた後、両手で容器を抑えて前後左右に振りながらレモンラッシーづくりに挑戦しました。

また、古川小学校、古川西小学校でも同様の授業が行われました。



レモンラッシーづくりに挑戦する児童

台 台湾新港郷の小学生とWebテレビで交流授業 台湾新港郷との交流を更に深める

6月4日（火） 古川小学校

飛騨市の友好都市「台湾新港郷」の小学生とWebテレビで交流する授業が古川小学校で行われました。

授業には、同校の6年生75人が参加。最初に中国語で簡単なあいさつを学んだ後、新港郷の小学生からWebテレビで新港郷や地元特産品、小学校の活動などについて英語で紹介がありました。

紹介が終わると古川小学校の児童が「今日の給食は何ですか?」、「将来の夢は何ですか?」など習いたての英語で質問をして新港郷小学生との交流を深めました。



新港郷の小学生に質問をする古川小学校の児童

消 飛騨市消防操法大会 防団員が消防技術を競い合う

6月9日（日） 神岡中学校グラウンド

市内の消防団員が消防技術を競い合う飛騨市消防操法大会（ポンプ車操法）が神岡中学校グラウンドで行われました。

大会には、市内で消防ポンプ自動車を所有する神岡、古川方面隊の代表6チームが出場。団員がホースを伸ばし、火に見立てた標的に放水するまでの時間や正確性を競いました。

審査の結果、古川方面隊自動車分団が優勝。古川方面隊自動車分団は、8月4日に高山市で開催される「消防感謝祭」第68回岐阜県消防操法大会へ飛騨市消防協会の代表として出場します。



標的に向かって放水する消防団員

日 飛騨市少年の主張大会 頃の思いを堂々と発表

6月8日（土） 古川町公民館

飛騨市少年の主張大会が古川町公民館で行われ、市内の小中学生が日頃から考えていることや、心からの思いなどを発表しました。

この日は、市内の各小中学校から推薦を受けた16人が出場し、自分のこと、家族のこと、身のまわりの中で感じたことなどを堂々と述べました。

なお、中学生の部では、古川中学校3年の藤戸ナオヤさん、柳雪乃さんの2人が飛騨地区選考会に進みました。



少年の主張大会に出場した児童生徒ら

水 小水力発電所「森安発電所」起工式 力発電で地域活性化へ

6月18日（火） 宮川町森安地内

宮川町森安地内の宮川支流で、小水力発電所「森安発電所」建設工事の起工式が開かれ、関係者や地元地権者ら約40人が出席しました。

発電所の最大出力は550キロワット、年間可能発生電力量は338万6千キロワットを見込んでおり、1,100世帯分の電力が供給可能な水力発電所です。

起工式では、発電所の工事や運営を行う宮川水力開発合同会社の関係者、地権者や湯之下副市長が出席。湯之下副市長は「地域に活力を与えてくれる存在となること、地域共生の契機となり地域の活性化につながるものと大いに期待しています」と祝辞を読み上げました。



起工式の様子

寄 企業版ふるさと納税で寄附 附をいただいた企業へ感謝状を贈呈

6月13日（木） 東京都

三井不動産（株）から企業版ふるさと納税を活用した寄附（1,000万円）をいただきました。

この寄附は地方創生の取り組みの一環として、民間企業が積極的な寄附をおこなえる仕組み「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」を活用したもので、「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」の整備財源に充てられました。

感謝状は東京大学伊藤国際学術研究センターにて、飛騨市名誉市民の梶田隆章博士も駆けつけるなか、三井不動産（株）の北原義一副社長へ手渡されました。



感謝状を手にする北原副社長（中央）と梶田博士

妊 ママサロン「にこにこルームまるん」オープン 娠中から出産後のママを支援

6月18日（火） ハートピア古川

妊娠中から出産後の飛騨市のママを支援する産前産後ママサポプロジェクトの一つママサロン「にこにこルームまるん」がオープンしました。

このママサロンでは、飛騨市助産師会の助産師が運営し訪れた母親が気軽に相談や交流などすることができ、母親の孤立感や不安感を解消できるための支援を行っています。

ママサロンは、毎週火曜日と金曜日の9時00分から12時00分までハートピア古川で開かれます。また、月に1回土曜日に妊婦さんやママさん同士の交流を目的とした「にこにこ交流会」も開かれます。



ママサロンの様子

地 飛騨古城特別支援学校MS・MSJリーダーズ活動 地域の皆さんに感謝の気持ちを込めて

6月14日（金） 古川駅周辺

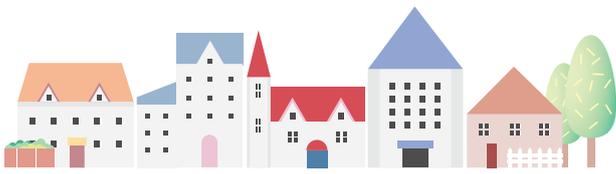
飛騨古城特別支援学校の高等部と中学部の生徒16人が、JR飛騨古川駅や駅周辺の清掃活動を行いました。

この活動は、飛騨警察署から認証を受けたMS・MSJリーダーズの青少年健全育成のための地域奉仕活動の一環として行われ、今回2回目の活動は、日頃からお世話になっている地域の皆さんに感謝の気持ちを込めて駅周辺の清掃活動に取り組みました。

この日は、支援学校玄関前に集合し、JR飛騨古川駅前まで徒歩で移動。駅舎やバス待合所、トイレ、跨線橋、自転車置き場などのゴミ拾いや窓ふきなどの清掃を行いました。



駐輪場を清掃をする生徒



飛騨市

Facebook 公式アカウント

飛騨市役所



まちの話題に掲載しきれないイベントや写真は市の公式Facebookで配信中。



色 香愛ローズガーデン「ばら園まつり」 とりどりのバラが来場者を魅了

6月23日(日) 河合町 香愛ローズガーデン

6月8日にオープンした河合町の香愛ローズガーデンで「ばら園まつり」が開催されました。

この日は、丹精こめて育てられたさまざまな種類のバラが見ごろを迎え、多くの来場者が美しい庭園を堪能しました。

また、ミニSL体験、魚のつかみ取り、地元バンド演奏、各種バザーなど盛りだくさんのイベントが行われ、子どもからお年寄りまで多くの来場者でにぎわいました。

ローズガーデンでは、1,300種、約5,000株のバラが栽培され、6月中旬から10月頃まで花を咲かせます。



見ごろを迎えたバラ園

市とKDDIが実証実験 ICTを活用して課題解決へ

6月18日(火) 市役所、古川町寺地地内

市とKDDI(株)によるICT(情報通信技術)を活用したスマート農業とスマート防災の実証実験が始まり、18日に市役所と古川町寺地で説明会が行われました。

実証実験は、古川町内の水田にセンサーと自動水門を設置。センサーで水田の水位、水温、地温を1時間ごとに自動で測定し、データをパソコンなどで確認することができます。また、水位が減った時に自動で水を供給する自動水門も設置し水管理の省力化を図ります。

また、冠水の危険がある場所にネットワークカメラを設置。市役所から遠隔操作で現場を撮影し、災害時に素早く河川の状況を確認することができます。



水田の状況を確認する関係者ら

登 天生県立自然公園が山開き 山者の安全を祈願

6月28日(金) 河合町 天生県立自然公園

災害復旧工事のため通行止めとなっていた国道360号が28日に開通し、天生県立自然公園の山開きが行われました。

天生県立自然公園は、標高1,290メートルから1,744メートルに広がる天然のブナ原生林や約450種以上の植物が自生する全国でも珍しい自然公園です。

この日は、飛騨市観光協会の主催で同園の山開きが開かれ、市や白川村、自然案内人やパトロール員ら約30人が出席し、神事で登山者の安全を祈願しました。

7月以降の園内にはニッコウキスゲやシラヒゲソウなどの開花が始まります。



園内のパトロールをする案内人

水 高原川でミズベリング in 神岡 辺で食と音楽を楽しむ

6月22日(土) 神岡町 高原川・船津座

水辺を活用して美味しいグルメやコンサートなどを楽しむ「ミズベリングin神岡」が高原川の河川敷と船津座で開かれました。

このイベントは、神岡町内の企業や団体でつくる高原川ミズベリング協会が主催しました。

オープニング式典では、高原川ミズベリング利用計画のプレゼンテーションやテープカット、神岡民謡保存会による踊りが披露されました。

また、船津座イベント広場で野外ライブコンサートが開かれ、プロの音楽バンド「MORE THE MAN」や地元バンドによる演奏が行われ、会場は熱気に包まれました。



関係者によるテープカット